

再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：野田 勝

事業名	地域高規格道路 I Cアクセス 主要地方道宇都宮向田線 <small>うつのみやむかだ</small> 平出板戸工区 <small>ひらいでいたど</small>	事業区分	地方道	事業主体	栃木県
起終点	自：栃木県宇都宮市平出町 <small>うつのみやしひらいでまち</small> 至：栃木県芳賀郡芳賀町下高根沢 <small>はがぐんはがまちしもたかねざわ</small>			延長	6.2km
事業概要 主要地方道宇都宮向田線は、地域高規格道路 常総・宇都宮東部連絡道路へアクセスする道路であり、渋滞緩和、地域の活性化等を目的とし宇都宮市平出町～芳賀郡芳賀町下高根沢までの延長約6.2kmを整備するものである。					
H14年度事業化		都市計画決定なし		H14年度用地着手	
H15年度工事着手		約130億円		事業進捗率 約92%	
全体事業費		約130億円		供用済延長 5.6km	
計画交通量：13,900～26,600台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	2.5	総費用 (残事業)/ (事業全体) 13/195 億円 (事業費：8.5/190億円) (維持管理費：4.3/4.3億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 105/481億円 (走行時間短縮便益：92/438 億円) (走行経費減少便益：8.0/33 億円) (交通事故減少便益：5.3/10 億円)	基準年 平成30年
	(残事業)	8.2			
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=2.2～2.7(交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=7.4～9.0(交通量 ±10%) 事業費：B/C=2.5～2.5(事業費 ±10%) 事業費：B/C=7.7～8.8(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=2.4～2.6(事業期間±20%) 事業期間：B/C=7.9～8.5(事業期間±20%)					
事業の効果等 渋滞緩和による交通の円滑化、宇都宮市街地と県東部地域の連携強化及び鬼怒川左岸地域の産業支援を図る。					
関係する地方公共団体等の意見 宇都宮市・芳賀町・高根沢町等で構成される鬼怒川新橋整備促進期成同盟会、および芳賀工業団地・芳賀高根沢工業団地に立地する企業により構成される芳賀町工業団地連絡協議会から建設促進が要望されている。					
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・宇都宮市・芳賀町が施工するLRT事業の平成30年度工事着工 ・付加車線を設置する計画変更					
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業進捗率約92%、用地取得率約100%（平成30年度末時点）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今後は早期完了を目指し、道路改良工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等 再生骨材、再生アスファルト合材を活用するほか、土工の過不足について、近傍で実施している他事業と調整することにより、コスト縮減を図る。					
対応方針		事業継続			
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。